

日语课外读物丛书

〔日〕八田清信著

死の川とたたかう

向死亡之河斗争

上海译文出版社

日语课外读物丛书

向死亡之河斗争

死の川とたたかう

〔日〕 八田清信 著

徐耀耀 吴绪筑 顾馨安 注释

上海译文出版社

日语课外读物丛书

向死亡之河斗争

(日) 八田清信 著

徐耀耀 吴绪筑 顾馨安 注释

上海译文出版社出版

上海延安中路 955 弄 14 号

新华书店上海发行所发行

江苏南漕印刷厂印刷

开本 787×1092 1/32 印张 6.25 字数 126,000

1986 年 5 月第 1 版 1986 年 5 月第 1 次印刷

印数: C.001—8,500 册

书号: 9188·287 定价: 0.94 元

《日语课外读物丛书》出版说明

根据教育部召开的“全国高等院校日语专业教材规划会议”的精神，为了帮助高等院校在校日语专业学生和社会上日语学习者提高日语水平，满足广大读者扩大日本语言和日本概况知识的需要，特由北京外国语学院、天津外国语学院和上海外国语学院等三院校分别组织人员，共同商定编选方针，选择日本原版书籍中知识性、科学性、趣味性较强，语言文字比较规范的文章，进行注释，辑成这套《日语课外读物丛书》。

本丛书内容着重介绍有关日本的社会生活面貌、风土人情、产业经济、历史、地理、语言习惯、人物传记等各方面的情况，分册陆续出版。

前 言

本书是日本少年写实小说丛书中的一册，叙述了日本富士县医生萩野升历尽艰难，为查明日本典型的公害病之一——痛痛病起因的坎坷遭遇。

痛痛病发生在富士县神通河流域。河流的上游有个开采铅锌矿的神冈矿业所，萩野查阅了大量资料，确认痛痛病是由矿区排出的大量有毒的废水引起的，于是在医学学会上发表了他的研究成果。不料招致不少人的攻击和诽谤，但也有一些学者赞同他的观点并与他合作继续研究。随着研究的深入，神冈矿业所日感不安，不断对他进行诬陷和恐吓。农民小松义久曾目睹了自己的祖母和母亲患痛痛病死去的惨状，便联合其他痛痛病患者和家属，向法院起诉。经过长达四年之久的诉讼斗争，在社会正义力量的支持下，他们终于取得了胜诉。神冈矿业所不得不同意赔偿损失。萩野的研究成果得到了法律的承认，痛痛病被列为日本第一号公害病。

作者八田清信是位新闻记者，他前后花了十五年时间采访有关痛痛病的情况，并根据所得资料写成本书。本书材料生动，文字浅显，可供具有一般日语阅读能力的读者使用。

どくしや

読者のみなさんへ

この本は、日本の代表的な公害病のひとつである、イタイイタイ病¹の物語です。

わたしが、はじめてイタイイタイ病^{びょう}のことを知ったのは、一九五五年の夏でした。イタイイタイ病の発見者^{はつけんしや}である萩野昇^{はぎの}博士^{はくし}が、わたしにおしえてくれたのです。萩野博士は、わたしに話をする十年も²まえから、イタイイタイ病ととりぐみ、ひとりでこつこつと研究^{けんきゅう}をつづけていたのです。

そのころ、富山新聞^{とやましんぶん}の記者^{きしや}をしていたわたしは、さっそく患者^{かんじや}の家へ案内^{あんない}してもらいました。そして、目をおおいたくなる³ような患者の症状^{かんじや しようじょう}を見ているうちに、できるだけ力をかたむけて博士に協力^{はくし きようりよく}しようと心にきめ⁴ました。

しかし、患者^{かんじや}をすぐうための道は、けっしてたんたん⁵としたものではありませんでした。とくに、イタイイタイ病の

1. (イタイイタイ病) 痛痛病。这是发生在富士县神通河流域的一种由矿毒引起的怪病，一般在中年以上的妇女中尤为多见。最初感觉疼痛，逐渐发生骨折导致瘫痪，病人在经受了长时期病痛折磨后死去。

2. (も) 格助词。文中强调时间之久。

3. (目をおおいたくなる) 词组。目不忍睹。

4. (心にきめる) 词组。暗暗下了决心。

5. (たんたん) 平坦的。

げんいん かみおかとうざん こうどく はつびよう はくし
原因が神岡鉾山の鉾毒である、と発表してから博士は、は
げしい嵐のまっただなか¹に立たなければなりませんでし
た。

わたしは、この物語で、まず、イタイタイ病の研究と患者^{かんじや}
の救済に生涯^{きゆうさい}をかけ²た萩野博士^{はぎの はくし}のたたかいの記録^{きろく}を、
ありのままに紹介^{しょうかい}しました。それから、萩野博士の研究がも
とになって³、イタイタイ病が日本の公害病^{こうがいびよう}第一号^{ごう}として
みとめられ、やがて、多くの人びとが公害裁判^{こうがいさいばん}へ立ちあがるい
きさつをのべました。そして、さいごに、日本ではじめての
公害裁判^{こうがいさいばん}が、いろいろな障害^{しょうがい}をのりこえて、勝利^{しょうり}へこぎつけ
る⁴までのドラマをえがきました。

この本が、人間の生命^{せいめい}をむしばむ公害^{こうがい}のおそろしさを知り、
公害^{こうがい}をふせぐうえに⁵、いくらかでも役だてば^{やく}さいわいで
す。

なお、この本をまとめるについては、萩野博士^{はぎの はくし}のご指導^{しどう}と、

1. (まっただなか)正当中,正中央。“まっ”是接头词,接在表示状态的词前面,表示“的确…”之意。△まっあたらしい。/崭新的。
2. (生涯をかける)把一生扑上去。
3. (萩野博士の研究がもとになって)以萩野博士的研究为基础。“…がもとになって”,句型。意为“以…为基因”“以…为根据”。△胃潰瘍がもとになって癌になった。/由胃溃疡发展成为癌。
4. (こぎつける)努力做到,努力达到。
5. (うえに)文中表示“在…方面”。△この本は理解力を高めるうえに役に立つと思う。/我想这本书会有助于提高理解能力。
6. (いくらかでも役だてば)即“すこしでも役立てば”,要是能起一点作用的话。

とやましんぶんしやちよう みやした よきちし
 富山新聞社長、宮下与吉氏のはげましのことは、それから、
 とやましんぶんほうどうきよくちよう ぬくい しんろくし どうじちよう かとうなつ きし
 富山新聞報道局長、温井申六氏、同次長、加藤夏樹氏らのご
 きよりよく しりよう きろくしやしん ていきよう
 協力によって、多くの資料や記録写真を提供していただい
 たことを厚くお礼申しあげます¹。
 げんこう せいり へんしゅう かとうしゅうし
 また、原稿の整理と編集にあたっ²ては、加藤秀氏の大き
 じよりよく もう
 な助力があったことを申しそえます。

元富山新聞社 はつた せいしん
 八田 清 信

-
1. (厚くお礼申しあげます) 词组。表示深切的谢意。这是一种相当客气、谦逊的表达方法。“あげる”是补助动词，接在特殊动词连用形后面，向对方谦述自己的动作。
 2. (原稿の整理と編集にあたっ^て) 在原稿整理和编辑的时候。“…にあた^て”，句型。前接体言或动词终止形，意为“…之际”“…的时候”。

も く じ

(1) イタイイタイ病との出会い

かな 悲しみの歌	うた	1
はぎのはくし 萩野博士の報告	ほうこく	4
びようき 病気の名づけ親	な おや	11

(2) 悲慘な病状

かんじゃ 患者は訴える	うつた	16
びようき 病気の特徴	とくちよう	21
て 手さぐりの十年間	ねんかん	27
みず 水があやしい		30

(3) 犯人をもとめて

かみおかとうざん 神岡鉦山の歴史と鉦害	れきし こうがい	37
しろ みず 白い水のなぞ		42
こうどくせつ 鉦毒説を発表する	はつびよう	47
こうげき 攻撃の嵐	あらし	51

(4) ふしぎなめぐりあい

小林 教授の分析	58
目に見えない糸	63
骨からカドミウムが	70
カドミウムとは?	78
ふたたび神岡鉱山へ	85

(5) 吹きすさぶ嵐の中で

吉田県知事と会う	90
原因と責任のありか	94
しのびよる黒い手	100
故国をのがれる	107

(6) 立ちあがる人びと

小松義久の怒り	115
訴訟にふみきる	118
決意の涙	126

(7) 生命をかけた証言

イタイイタイ病の詩	134
追いつめられる被告	139

きぎょう しやうにん 企業がわの証人たち	145
よんだいこうがいさいばん 日本の四大公害裁判	151
ひこく 被告がわのあがき	156

(8) せいき さいばん 世紀の裁判

はんけつ 判決くだる	166
なが しやうり みち 長かった勝利への道	172
はんけつ う かた 判決の受けとめられ方	175
こうがいもんだい よあ 公害問題の夜明け	182

〈1〉 イタイイタイ病^{びょう}との出会い^{であ}

かな うた 悲しみの歌

母は死んだ、雪の降りしきる^ふ 二月の夕べ^{ゆう}。リンゲル² と
ぶどう糖注射^{とうちゆうしや}、酸素吸入^{さんそきゆうにゆう}³ など、ありとあらゆる^{しゆだん} 手段⁴ を
つくした。

あらくはげしい呼吸^{こきゅう}が急にとだえて、六十七才の悲しみと
怒^{いか}りの命を白い病室^{びやうしつ}でとじた。江添^{えぞえ}チヨさん、私はあなたの
息子^{むすこ}ではない、だけど私はあなたを母とよびたい。

日本がうそっぱち⁵の戦^{やぶ}いに敗れ、すこしは人間らしくな
りだした⁶ころ、私はやっと、この世^よに生^{せい}をうけた。ちょうど
そのころ、あなたはすでにいまわしい⁷病床^{びやうしやう}にいた。

あれから二十余年、私はなにも知らずに、婦中町^{ふちゆうまち}に育ってき

1. (しきる) 増加, 頻繁起来。△雨が降りしきる。/ 雨越下越大。
2. (リンゲル) 任求氏溶液。
3. (酸素吸入) 輸入氧气。
4. (ありとあらゆる) 词组。强调“あらゆる”。意为“所有”“一切”。
5. (うそっぱち) 俗语。谎话。
6. (だした) 这是补助动词“だす”的连用形“だし”加表示过去的助动词“た”，接在动词连用形后面，表示“…起来”“开始…”。△5時から読みだした。/ 5点开始看书。△急に雨が降りだした。/ 一下子下起雨来了。
7. (いまわしい) 可恨的, 可恶的, 讨厌的。



た。水をうたがわず春は大地を信じて、野草をつみ歩いた。
が、やがてイタイタイ病の名が若い胸につきささった¹。

そしていま私はあなたのことを思ってこんなにもすなおに
泣けるまるで自分のもののように²。あなたのくやしいうら

1. (つきささった)由动词“つく”和“ささる”复合而成,意为“刺痛”。

2. (まるで…のように)句型。就好象…一样。这里作状语用。△あの方は
まるで日本人のように上手に日本語を話します。/那个人日语很好,讲
得象日本人一样。

みと怒りが私を燃やし、私の命があなたの生きようとした道につらぬかれるのを感じる。あなたの苦しみのひとかけら¹でさえ²、知るものならふきあげる怒りをどこでおさえつけたらいいのだ。

神仏にすがりうらないもし、雪がとけるとたんぼのすみずみに祈りながら、塩をまきつくし³て清らかにした。各地の鉱泉へ湯治⁴にゆかせた。入院してからは、いくども⁵の正月を待ちむかえて別れた。長い生活の中から三井が犯人だと信じはじめ科学が確信をあたえそれをつかんだ息子たちは「むしろ旗だ」と口ぐちに怒りをつきあげ⁶た。お母さん。

だけど私は涙にくずれた顔をやつらに見せない。やつらを追いつめ、真実のまえにひざまずかせる⁷まで、吹雪だろ

1. (ひとかけら)“かけら”意为“一丁点儿”。“ひと”是接头词，表示“一点儿”“稍微”之意。
2. (でさえ)提示助词。接在名词后面例示某个极端的事物，以此来推测其全部状况。意为“即使是…也…”。△ヒマラヤは夏でさえ雪がある。/喜马拉雅山即使是夏天也有积雪。
3. (つくし)其基本形为“つくす”，接在动词连用形后面构成复合动词，意为“完”“尽”。△飢饉で草や木の根まで食べつくしてしまった。/由于饥荒，连草、树根都吃光了。
4. (湯治)温泉疗养。
5. (いくども)好几次。△そこへはいくども行ったことがある。/那里曾去过好多次。
6. (怒りをつきあげる)词组。文中意为“发出了愤怒的吼声”。
7. (ひざまずかせる)使之跪下。这是“ひざまずく”的使役态。文中为“使之低头、认罪”之意。

うと 雨だろうと¹、凍^こりつくような夜だ²ってかまわな
い。かけまわり走りまわり、あなたの悲^{かな}しみと怒^{いか}りの命をう
けついで、春を、ほんとうの春をむかえるために、息^{むすこ}子たちと
戦^{いくさ}っていくだろう。

これは、一九七一年(昭和四十六年)二月六日、イタイイタイ
病で死^えんだ江添^{えぞえ}チヨさんの霊^{れい}前^{ぜん}にそなえられ³た詩であ
る。そなえた人は、江添^{えぞえ}チヨさんとおなじ富山^{とやま}県^{けん}婦^ね負^い郡^{ぐん}婦^ふ中^{ちゆう}
町^{まち}にすむ藤田^{ふじた}充^{あつし}さんという二十五^{せい}才^{ねん}の青年^{せいねん}であった。

藤田^{ふじた}さんは、この詩でイタイイタイ病^しという悲惨^{ひさん}な病^び氣^きの
犠^ぎ牲^{せい}者^{しや}にたいする悲^{かな}しみをうたい、病^び氣^きをはこんできた犯^{はんにん}人^{にん}
へ^いの怒^{いか}りをぶちまけた⁴のであった。

この物語^{ものがたり}は、日本^{にっぽん}の公害^{こうがい}病^{びよう}第一^{だいいち}号^{ごう}とな^なった、イタイイタイ
病^{びよう}の記^き録^{ろく}である。

はぎのはくし ほうこく 萩野博士の報告

一九五五年(昭和三十年)八月二日の午後三時ごろ、富山^{とやまし}市

1. (吹雪だろうと、雨だろうと)无论是暴风雪，还是下雨。“…だろうと…だ
らうと”，句型，意为“无论是…还是…”，和“…であろうと…であろうと”
同义。△夏だろうと冬だろうと朝朗読を続けた。/无论是夏天还是冬天
都坚持了早读。
2. (だって)提示助词。相当于“でも”意为“即使…也…”。△雨天だってあ
すの旅^{たび}行^いは行^いないま^ます。/即使下雨明天也要去旅行。
3. (そなえられる)进贡、上供的自发态。
4. (ぶちまける)倾吐，完全说出。

いわせはま はつた せいしん ちよしや
岩瀬浜にある八田清信(この本の著者)の家をたずねた人があ
った。訪問客は富山県婦負郡婦中町の医師、萩野昇博士で、
にちよう ご ご かぞく いわせ はまかいすいよくじよう
日曜の午後、家族づれで岩瀬浜海水浴場にきたついでに¹ 立
ちよったのだった。

はぎの はくし ふちゆうまち はぎのびよういん びよういん
萩野博士は婦中町に古くからつたわる萩野病院の病院
ちよう とやまけんい しかい こうほうぶちよう
長で、とうじ、富山県医師会の広報部長をつとめていた。

いはつた せいしん はたら
いっぽう八田清信は、そのころ四十六才の働きざかり
とやましんぶん しゃかいぶちよう けんない きよういく
で、富山新聞の社会部長をしていた。そして、県内の教育、
ぶんか こうせいほうめん きじ せつきよくてき えい
文化、厚生方面の記事を積極的にとりあげ、とくに、病気や衛
せい ちしき いつばん いがくかんけい しゆざい
生の知識を一般の人びとにひろめるために、医学関係の取材
ほうどう
と報道に力をそそいでいた。

はつた きしや けんか びよういん いし ほうもん
八田記者は、ひまをみては² 県下の病院や医師を訪問し
たが、中でも足しげく通³たのは、新聞社の近くにあった
とやまけんい しかい かくちくたいひよう い
富山県医師会であった。そこでは毎月二回、各地区代表の医
し かいどう いりようかんけい
師の会合があり、もっとも新しい医療関係のニュースを、ま
しゆざい
とめて取材することができたからである。

かんけい しぜん
そういう関係から二人は、自然に親しくなり、その後も長
ゆうじよう
く友情をとりかわすことになるのである。

はつた きしや はくし はまちや
ところで八田記者の家をたずねた博士は、海岸近くの浜茶

1. (ついでに)副词。順便，就便。△上海へ行ったついでに杭州を見てこよう。/借赴上海之便，順便到杭州去看看。
2. (ては)连接助词。表示动作的反复。△失敗してはやり、失敗してはやって、とうとう成功した。/失敗了再搞，失敗了又干，终于成功了。
3. (足しげく通う)頻繁涉足，常去。

や はつた きしや
屋へ八田記者をさそった。二人は風通しのよい浜茶屋の一隅
で、休日きゆうじつのひとつときを雑談ざつたんにふけた。話がひとくぎりし
た¹あと、博士はくしがポツリポツリと²語りだした。

「八田さん、いままでだまっていたけど、わたしの住んで
いる婦中町ふちゅうまちに、ふしぎな病気ちりょうほうがあつて、てきとうな治療法が見
つからず、こまっているんですよ。」「ふしぎな病気ちりょうほうって³、
どんな病気ですか。」

八田記者は、とたんに新聞記者しんぶん きしやのするどい目つきになって
聞きかえし⁴た。

「それが⁵、話をするだけでも胸むねがふさがれるような悲惨ひさんな病
気なんです。患者かんじやは、ほとんど中年ちゅうねんをすぎた女性おんなですが、全
身何十しんか所ところとなく骨折こつせつし⁶、いたいいたいと泣きさげびなが
ら死んでいくのです。」

1. (ひとくぎりした)告一段落。

2. (ポツリポツリと)副词。断断续续地。

3. (って)助词。出自文言的“と言ひて”，后来变成“とて”“って”，只用于口
语。和“というのは”同义。△彼のお母さんってどんな人かい。/他的母
亲是怎样一个人？

4. (聞きかえし)反问。

5. (それが)接续词。常使用于事情与预料相反的情况。△“文章は書き終り
ましたか。”“それが、資料捜しに時間がかかったもんですから、あすまで
に書き終らないかもしれませんよ。”/“你文章写好了？”“查资料就化了
好多时间，所以明天恐怕写不完”。

6. (全身何十か所となく骨折し)全身骨折有几十处之多。“…となく…”，句
型。前面接不确定数量的数词，表示数量、次数之多。△去年の夏は何日
となく雨の日は続いた。/去年夏天连续下了好几天雨。